

【博物館学習の手引き】

1. 事前指導のお願い

○学校で、「博物館利用上の注意」について、事前の指導をお願いします。（下記参照）

2. 見学学習でのお願い

(1) 児童生徒の活動

- ①展示室案内図（別紙）を基に、調査場所を確認して移動できるようにしてください。
- ②学校でワークシートを作成して、課題を解決するという視点を持たせると効果的です。
- ③基本的に展示資料をよく見て、スケッチをするなどの活動を取り入れるとよいでしょう。
- ④全展示室の見学には2時間程度必要です。確保できない場合は、展示室の焦点化が必要です。

(2) 教員の活動（博物館では、基本的に教員による指導体制をとるようにしてください。）

- ①教員は、展示室で児童生徒の学習活動の支援を行うようにしてください。（役割分担の明確化）
- ②グループ学習の場合は、特に展示室案内図（別紙）で教員を配置するようにしてください。

【博物館利用上の注意】

- ①博物館では展示資料にはさわらない。（触ってもよい体験学習室を除く。）
- ②博物館では、走ったり大声で話したりしない。
- ③展示室での飲食は禁止。
- ④歴史展示室での撮影は禁止。
- ⑤当博物館では、ペン類及び消しゴムの使用は不可。（鉛筆のみ使用可）

次のような学習活動を取り入れると、より効果的に展開することができるので参考にしてください。

【博学連携による博物館学習】

1. 教材研究のすすめ

- (1) 博物館のホームページや展示解説書等を参照し、博物館の概要をつかむ。
- (2) 教科書と展示資料との関連を分析する。
- (3) 博物館を予察し、展示室の概要をつかむ。【博物館のサポート1】
- (4) 学習指導案を作成する。（博物館でなければ解決できない学習問題を設定する。）

2. 事前学習のすすめ

- (1) 学習指導案に基づく授業を行い、児童生徒に問題意識（なぜ？知りたい！）を持たせる。
- (2) 児童生徒が問題解決するための資料収集をするという観点のワークシートを作成する。
- (3) 児童生徒に利用案内（パンフレット）を提示して、効率的に調査活動ができるようにする。

3. 見学学習のすすめ

- (1) 焦点化した調査内容（ワークシート）を確認し合って、調査活動を行う。
- (2) ポイントとなる展示室では、教員と研究員による支援活動を行う。【博物館のサポート2】

4. 事後学習のすすめ

- (1) 各自の調査内容をまとめて、報告会を行う。
- (2) 調査内容を整理して、全体で学習問題について話し合う。
- (3) 博物館学習を整理して、新聞等にまとめる。

※博学連携による博物館学習を希望する場合は、教育普及課までご連絡下さい。

教育普及課 TEL 043 (265) 3776 別紙 様式1「博物館学習対応シート」の使用